

ジュニアオリンピック競技注意事項

1. 競技規則について

本大会は2016年日本陸上競技連盟規則及び本大会要項によって実施する。

2. 招集について

(1)招集場所は、旧補助競技場内に設置する。

(2)携帯電話等、競技規則第144条④(4)に関わる機器は競技場内に持ち込むことはできない。

(3)招集は必ず本人が行い、代理人による招集は認めない。但し、同時刻に他種目に出場する場合は、その旨をあらかじめ競技者係(招集所)に申し出ること。

(4)招集完了時刻に遅れた競技者は、出場できない。

○ 招集時間

	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	30分前	20分前
跳躍 競技	40分前	30分前
投てき競技	30分前	20分前

3. 競技場への入退場について

(1)第1日目は第21回三重県小学生クラブ対抗選手権と同時開催とする。

(2)入場は、全て招集所より係の誘導により行なう。

(3)退場は下記のとおりとする。

トラック競技・・・フィニッシュ地点退場口から本部テント前を通り退場のこと。

フィールド競技・・・競技役員の指示・誘導による。

4. 競技について

(1)トラック競技

①短距離走では、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーン(曲走路)を走る。

②3000mにおいて、周回遅れが出た場合、競技運営上、レース途中で中止させることがあるので、選手は審判の指示に従うこと。

④ハードル種目の規格は下記のとおりとする。

	男子 A	男子 B	女子 A	女子 B
高さ	0.991m	0.914m	0.762m	0.762m
ハードル間	9.14m	9.14m	8.50m	8.00m

(2)フィールド競技

①トラック種目とフィールド種目を兼ねる者は、トラック種目を優先とする。但し、その場合は必ずフィールド審判員に申し出て許可を受けること。

②投てき物の重さは下記のとおりである。

	男子 A	男子 B	女子 A	女子 B
砲丸	5.0kg	4.0kg	4.0kg	2.721kg

	男子共通	女子共通
円盤	1.5kg	1.0kg

③フィールド競技の計測ラインは次のとおりである。

男子 B 走幅跳	5m30
男子 C 走幅跳	4m50
女子 B 走幅跳	4m40
女子 C 走幅跳	4m10
男子共通ジャベリックスロー	40m00
女子共通ジャベリックスロー	30m00

④走高跳のバーの上げ方は次のとおりである。

	練習	開始					
男子 A	1m50 1m60 1m70	1m55	1m60	1m65	1m70	1m73	以後 3cm
女子 A	1m30 1m40 1m50	1m35	1m40	1m45	1m48	1m51	以後 3cm

※ 1 位決定のためのバーの上下は 2cm とする。練習の高さは状況に応じて審判長が変更する場合がある。

5. 表彰について

各種目の 8 位入賞者は、競技終了後、直ちに表彰控えテントに集合すること。

6. 競技用靴について

スパイクのピンの長さは 9mm 以内とする。ただし、走高跳・やり投は 12mm 以内とし、スパイクの先端の直径はすべて 4 mm 以内でなければならない。なお、スパイクピンの数は 11 本以内とする。

7. 練習場について

(1)補助競技場での練習は下記の注意を厳守のこと。

- 第 1 日目は小学生大会と同時開催の為、手本となるような態度で、周りに十分注意をしながらウォーミングアップを行なうこと。
- 衝突事故防止の為、直走路の横断は禁止する。(曲走路より横断のこと)
- ジョッグ及びウォーキングは、フィールド内の芝生を使用し、走路を使用しない。
- 内側の 1・2 レーンは、長距離のペース走専用とする。
- 内側の 3～6 レーンは、流し等の専用とする。
- 外側の 7・8 レーンはハードル専用とする。
- 跳躍種目の練習は所定のピットで行う。
- 投てき種目の練習は禁止する。(メデイシングボール、ジャベリック等含む)
- 走路及びピットに立ち止まるとの指導等をしてはいけない。
- 走路は左回りとし、逆走は禁止する。
- その他審判員の指示に従う。
- 雨天練習場は使用できない。

8. 競技場について

- (1) 競技場内へは、競技役員、選手以外の立ち入りを禁止する。
- (2) 競技場、ベンチエリア、立見エリアとも汚さないように気をつける。
- (3) 競技場、競技場周辺の住民にも、迷惑をかけないようにゴミ等は、各自家まで持ち帰ること。
- (4) 持ち物の保管は各自で責任を持つ。万一の事故があっても責任は負わない。
- (5) 競技場周辺及び旧補助競技場における投てき練習は禁止する。
- (6) 旧補助競技場及び招集所への移動は指定通路を通ること。
- (7) 競技会での傷害は、応急処置のみで、以後の責任はもたない。

9. 全国ジュニアオリンピック大会参加について

- (1) 今大会終了時までに参加標準記録を突破した選手。
- (2) 参加標準記録の突破者がいない種目は、今大会優勝者1名が参加できる。
- (3) 全国大会の申し込み手続きは、本大会中に行うこと。